

## 【応募用紙】

### 1 応募者概要

事業所	名称	(ふりがな:せいかつきょうどうくみあいユーコープ) 生活協同組合ユーコープ		
	代表者役職・氏名	代表理事理事長 當具 伸一	従業員数	正規職員1246人 定時職員数5725人
	所在地	〒 231-0062 横浜市中区桜木町1-1-8		
	ホームページアドレス	<a href="https://www.ucoop.or.jp/">https://www.ucoop.or.jp/</a>		
	事業開始年月	2013年3月21日 3つの生協（コープかながわ、コープしずおか、市民生協やまなし）が組織合同	環境への取組を開始した年月	旧生協がそれぞれ、1970年代より開始
	事業内容	ユーコープは消費生活協同組合です。神奈川県・静岡県・山梨県に在住・在勤・在学の方に、おうちCO-OP（宅配）や夕食宅配、店舗事業などを通じて、毎日の暮らしに必要な商品やサービスを提供しています。		
	環境への取組について過去に受けた表彰等	リデュース・リユース・リサイクル推進協議会会長賞（令和元年）		
本社	名称	生活協同組合ユーコープ	所在地	横浜市中区桜木町1-1-8
	総従業員数	正規職員 1246人 定時職員数 5725人	資本金	出資金 33,516,359千円

### 2 環境に対する企業理念の設定、管理体制

#### (1) 基本理念・自己宣言等

<p>「人－社会－自然」の調和ある平和な社会の実現に貢献する</p> <p>私たちは、事業と運動を通じて、多くの人々が手を取り合い、人間社会が平和で持続可能な社会として発展していくことに貢献していきます。平和な社会とは、戦争などの争いのない安全・安心な社会であり、生命を尊び、自然を大切にする調和のある社会。持続可能な社会とは、人間の経済活動が人、社会、自然と調和して持続していく社会と考えています。</p>
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

#### (2) 環境マネジメントシステム関連

	取組等の名称	詳細内容
ア 認証等	—	—
イ 組織体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・組合員参加推進部 政策企画課</li> <li>・おうちCO-OP リサイクルセンター</li> </ul>	<p>人数配置：6名（正規2名・定時4名） 業務内容：環境に関する取り組みの企画立案。</p> <p>人数配置：12名（正規2名・定時10名） 業務内容：事業所から回収した資源物の集積・分別・一次加工</p>
ウ チェック機構	独自 IMS(統合マネジメントシステム)運用	・「経営基本方針」達成のためのIMSを組織全体で運用(ISO14001引用)し、これに基づくPDCAを継続。うち環境関連では主に「地球温暖化防止自主行動計画」および「リサイクル品廃棄物の排出抑制に関する評価と見直し」を年2回実施している。
エ その他の取組	<p>&lt;2030年に向けた環境基本政策の策定&gt;</p> <p>&lt;環境教育と実践&gt;</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在まで「2020年に向けた環境基本政策」に沿って環境活動を推進しており、2020年3月21日からの「2030年に向けた環境基本政策」に移行準備中。</li> <li>・職員・パート職員には継続的に環境教育を実施し、日常業務で実務を推進。さらに2019年度は新たな「2030年に向けた環境基本政策」について、今後10年の地球環境の変化に関す</li> </ul>

		る学習と合わせて共有化した。
	<グリーン購入の推進>	・総務部局における備品・文具類の集中管理化。

### (3) 取組結果等の公表・広報

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページでの公表</li> <li>・機関誌 mio（発行部数約 54 万部）および宅配カタログチラシ（発行部数や約 49 万部）にさまざまな環境の取り組みを掲載</li> <li>・SNS（フェイスブック・インスタグラム・メルマガなど）や、WEB モニター制度を通じた情報発信</li> <li>・店舗（神奈川・静岡・山梨計 98 店舗）の掲示板に mio 写真ニュースを掲示</li> <li>・総代（組合員の代表/550 名）へ、会議や総代会議案書・各種資料を通じて取り組みを報告</li> <li>・社会・環境報告書の発行</li> <li>・メディアなどへの取り組みの紹介やニュースリリース</li> </ul>	（一部を資料に添付しています）
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------

### 3 環境に配慮した製品や技術開発、サービス等の提供・導入

製品・技術・サービスなどの名称	詳細内容
①環境配慮商品の取り扱い	<p>①環境に配慮した商品の取り扱いを進め、店舗の売り場や宅配のカタログなどで、商品の特長をお知らせして利用を広げ、持続可能な農業・水産業・林業を支援しています。例えば、持続性と環境に配慮した水産物（MSC 認証承認、ASC 認証商品）、原料産地の森林・土壌・水に配慮した商品（FSC 認証商品、レインフォレスト・アライアンス認証商品、有機 JAS、特別栽培農産物、グリーン・プログラム商品）、その他地球環境に配慮した商品（カーボンフットプリントマーク商品、エコマーク商品）、食料自給力の向上と地域の農畜水産業を応援する地産地消商品など。</p> <p>また、循環型の農畜産業のもとで生産された商品の取り扱いや、ユーコープを介して畜産や農産の産直産地同士がつながる産直連携の取り組みを積極的に進めています。</p>
②組合員からの資源物回収（店舗、おうちCO-OP）	②ユーコープのリサイクル回収品は、1982 年に組合員の自主的な牛乳パックの回収からスタートしました。その後、組合員のニーズに応じて徐々に品目を拡大し、食品トレイ、ペットボトル、透明容器、アルミ缶、スチール缶、卵パック、ペットボトルキャップ、カタログなど現在では 11 種類。
③宅配事業（おうちCO-OP）	③おうちCO-OPは、組合員のお宅に週に 1 回、食品や日用品をお届けする宅配事業です。事前に注文する予約生産のため、食品ロスがでにくく、また、効率のよいコースでルート配送を行い、不在の際は専用のボックスに入れてお届けしているため、再配送の必要もなく、無駄なCO <sub>2</sub> を排出しません。
④組合員からの資源物の一次加工（おうちCO-OPリサイクルセンター）	④おうちCO-OPリサイクルセンターはユーコープ自前のリサイクル施設です。主に宅配事業「おうちCO-OP」を利用する組合員から出されたカタログや宅配センターで発生するダンボール等の資源物を回収し、分別・圧縮する一次加工施設です。圧縮された資源物はリサイクル業者を経て様々な再生品に生まれ変わっています。

### 4 事業活動において環境に配慮している取組、社会貢献活動

※取組や活動を開始した年度も記載してください。

	取組・活動等の名称	詳細内容
(1)省エネ・CO2 排出量削減の取組	(1) 持続可能な社会の実現に向けて、消費するエネルギー(資源)を	①店舗、宅配センターではCO <sub>2</sub> 排出量の削減に効果的な機器（空調や冷凍冷蔵機器、LED照明）に切り替えを進めています。

	<p>削減の取り組み</p> <p>(2) 再生可能エネルギーの利用、電気の低炭素化の取り組み</p> <p>(3) 地球温暖化防止・省エネルギーに関わる取り組み</p>	<p>②店舗・宅配センターの空調、冷凍冷蔵機器の省エネチューニングにより、エネルギー削減に継続して取り組んでいます。</p> <p>③店舗の改装や出店、新センター開設に合わせて、店舗、宅配センターに太陽光パネルを設置し、自家発電、自家消費に取り組んでいます。</p> <p>①新センター開設の時期に合わせて、宅配の車両を電気自動車へ入れ替えるなど次世代車両の導入を進めています。 5センターで計14台を導入(2019年3月現在)。</p> <p>②今後、店舗・宅配センターなどの事業所で使用する電気を再生可能エネルギーの発電比率が高い電気へ切り替えることで、エネルギーの低炭素化を実施します。</p> <p>①店舗では、電力使用量を可視化することによって、適切な節電を実施しています。</p> <p>②宅配では、日常的なエコドライブを行い、排気ガスを減少させ、CO<sub>2</sub>排出を低減しています。</p> <p>③環境に配慮した備品などの購入を進めています。資材購入の一例として、事業所で使用する制服は再生PETで作られたものを使用しています。また、グリーン購入推進として、横浜グリーン購入ネットワークに幹事として参加しています。</p>
<p>(2) 廃棄物削減の取組</p>	<p>(1) 廃棄物資源化の取り組み</p> <p>(2) 事業所や家庭の資源物を回収してリサイクルする取り組み</p> <p>(3) 事業所や家庭での食品ロスを削減する取り組み</p> <p>(4) レジ袋削減の取り組み</p> <p>(5) 省資源・循環型社会をめざした取り組み</p>	<p>①事業から排出する廃棄物を計量し、適切な排出量の把握を進めています。また、廃棄せざるを得ない場合は分別・再資源化を優先し廃棄しています。</p> <p>②葉くずや魚のアラなどやむを得ず廃棄するもの(食品残さ)は、肥料や堆肥にリサイクルしています。</p> <p>③ペーパーレス化により紙の使用量を減らし、また使用した紙資源は分別し、リサイクルしています。</p> <p>①事業活動から発生する資源物の回収品目を拡大し、おうちCO-OPリサイクルセンターで資源化をしています。</p> <p>②おうちCO-OPおよび店舗で牛乳パックやトレーなどの容器包装を含む資源物を回収し、家庭のゴミ削減と再資源化を進めています。</p> <p>①店舗での発注精度の向上や適切な商品管理の推進により、廃棄ロスを削減しています。</p> <p>②フードバンク、フードドライブの活動を通じて、事業や家庭の食品ロスを削減する取り組みを進めています。</p> <p>③流通の商習慣の見直しの検討など、フードチェーン全体で食品ロスの削減に取り組んでいます。</p> <p>①ユーコープで買い物される方は、ほとんどがマイバッグやマイバスケットをお持ちです。他のスーパーと比べても、とても高い比率です。これは1982年に始めた「お買い物袋持参運動」と「レジ袋の有料化」が組合員の皆さんにしっかり浸透しています。</p> <p>①包装形態の見直しなどにより、容器・包装で使用する紙やプラスチックの量を削減します。また、商品のノントレー化、再生原料を使用した包材(再生トレー)の利用を進めています。</p> <p>②ユーコープ内で排出する食品残さを堆肥に活用した農産物の生産と利用の可能性を検討します。</p>

(3) 生物多様性 保全等の取組	環境に配慮した商品の普及・拡大	「海のエシカル」として、海の資源や環境に配慮した海のエコラベル「MSC認証」や、「森のエシカル」として、森を守り続けるためにできることとして、パーム油の持続可能な調達や熱帯の森と人を守る「レインフォレスト・アライアンス認証」や森の資源を守る「FSC認証」の商品のお知らせ・供給の推進を行っています。店舗売場やおうちCO-OPカタログ「お買物めも」紙面で認証マークの説明や商品を取り扱っています（骨取りさばの味噌煮・コープのたらこ・辛子明太子・太ちくわ・セフター・植物性化粧石けんホワイト・カカオチョコレート・紅茶ティーパック、コーヒー・飲み物の紙容器にFSC認証紙使用・ティッシュ）。
(4) 社会貢献活動	<p>(1) フードバンク・フードドライブ活動の推進</p> <p>(2) 環境学習会の開催</p> <p>(3) 環境寄付キャンペーンの取り組み</p>	<p>①組合員の家庭で眠っている食品をユーコープのお店で集め、フードバンクに寄贈する取り組み「フードドライブ」を1月と8月に実施しています。パッケージの傷やへこみなどで組合員にお届けできない商品や、やむを得ない事情で配達直前にキャンセルとなった商品などをフードバンクに寄贈しています。</p> <p>①海洋プラスチックの問題を受け、ワンウェイプラスチックの使用削減や石油由来プラスチック代替品の検討、生分解性プラスチックやバイオマスプラスチックを使用した商品の学習会を開催しています。</p> <p>②組合員、職員・パート職員が、おうちCO-OPリサイクルセンターの見学会を通じて、リサイクルの重要性を学んでいます。</p> <p>①コープの洗剤を1点購入すると0.5円がWWFジャパンに寄付され、インドネシアにある小規模パーム農園の持続可能な生産を支援するプロジェクトを支援しています。</p>

## 5 成果を上げている取組や先駆的・模範的な取組・事業

取組や事業の名称	詳細内容
フードドライブ・フードバンク活動、食品ロス削減推進の取り組み	<p><b>【店舗で「フードドライブ」実施】</b>            組合員の家庭で眠っている食品をユーコープのお店で集め、フードバンクに寄贈する取り組み「フードドライブ」を1月と8月に実施しています。また、フードドライブに加え店舗では、袋が破れて商品として提供できないお米も寄贈しています。寄贈できる食品は、常温保存できる未開封の食品（お米、乾麺、缶詰、お菓子など）賞味期限が明記され残り2カ月以上あるものです。また、「いつでもフードバンクに食品を寄贈したい」との組合員の声に応え、フードドライブの常設を2019年5月より順次可能な店舗からスタートしています。</p> <p><b>【おうちCO-OPのキャンセル品を寄贈】</b>            パッケージの傷やへこみなどで組合員にお届けできない商品や、やむを得ない事情で配達直前にキャンセルとなった商品などをフードバンクに寄贈しています。</p> <p>ユーコープでは2014年9月からフードバンク活動をスタートしました。神奈川県内のフードバンク活動は、2016年12月に宅配の配送前にキャンセルが発生した商品（常温品）を子ども食堂へ寄贈したことが始まりです。</p> <p><b>【神奈川県内の取り組み】</b>  <b>■2016年～2018年</b> 神奈川県内の7つのおうちCO-OP宅配センターから、「子ども食堂」、「行政」などへキャンセル品の寄贈活動をスタートしました。これらの食品は地域のコミュニティの場である「子ども食堂」や、「行政」を通じての食料に困窮している人の支援に活用されています。</p>

2016年12月 横浜瀬谷センター、相模原センター  
2017年5月 厚木センター、海老名センター、  
9月 川崎中部センター  
11月 横浜新山下センター  
2018年2月 横須賀センター 「横須賀市」に寄贈

- 2018年1月 初のフードドライブ活動 冬季フードドライブ実施  
神奈川県内6店舗で1月の1カ月間、初のフードドライブ活動を行い「家庭で眠っている食品」を「NPO法人ワンエイド」に計313.9kgの食品を寄贈しました。
- 2018年3月 フードバンクかながわ設立  
ユーコープをはじめとした県内の協同組合や労働福祉団体など12団体が、一般社団法人「フードバンクかながわ」を設立しました。
- 2018年6月 フードバンクかながわに食品と米の寄贈を開始  
神奈川県内のおうちCO-OP宅配センター8事業所からキャンセル品と、全80店舗から破袋米や陳列限界を過ぎたお米の寄贈をスタートしました。  
お米は店舗からの物流の戻り便を利用し、お米を物流センターに集め寄贈しています。フードバンクかながわで再精米し、1.5kgに袋詰めしています。
- 2018年8月 夏季フードドライブ実施  
神奈川県内20店舗でフードドライブ活動に取り組み、組合員と店舗から合わせて715kgの食品を寄せられました。フードバンクかながわへ寄贈しました。
- 2019年1月 冬季フードドライブ実施  
神奈川県内63店舗で、フードドライブ活動に取り組み、組合員と店舗から合わせて2100.9kgにもなりました。フードバンクかながわに寄贈しました。
- 2019年5月 組合員の声で、店舗でのフードドライブの常設がスタート  
2018年1月より試験的に2店舗でフードドライブの常設をした結果、組合員より「いつでもフードバンクに食品を寄贈できる」と大変喜ばれたことから、5月に実施しました。現在では、常設店舗は19店舗に拡大しました。
- 2019年8月 夏季フードドライブ全80店舗で実施  
神奈川県内の全店で、フードドライブ活動に取り組み、組合員と店舗から合わせて1395kgもの食品を寄せられました。フードバンクかながわへ寄贈しました。
- ご縁で、同じみなとみらいに本部のある横浜銀行の本店・支店とのフードドライブ  
コラボの実施  
ユーコープのフードドライブのお知らせチラシを約200支店に設置していただき、フードドライブの認知度向上にご協力いただきました。
- 2019年10月 横浜市大寄付講座を開催  
横浜グリーン購入ネットワーク主催の寄附講座「環境経営の最先端：グリーン購入が開く環境都市」で、ユーコープではかながわ県本部より組合員理事が「エシカル消費」について講座を開催しました。学生からは、エシカルという言葉は初めて聞いたなどの声が寄せられました。
- 2019年10月、11月 ユーコープ政策企画課の環境職員が、神奈川県立舞岡高等学校、神奈川県立海老名高等学校への環境授業を開催  
SDGsの学習の一環として、舞岡高校より依頼を受け生徒が、おうちCO-OPリサイクルセンター(8名)、フードドライブの常設置店舗である上郷店(4名)、フードバンクかながわ(8名)を訪問し、見学と学習を実施しました。  
海老名高校では、食品ロスと削減に向けた取り組みについて、78名の生徒を対象に授業をおこないました。

【資料：ユーコープ 静岡・山梨県内での取り組み】

- 2014年9月 おうちCO-OP座間食品セットセンターがパッケージ破損品や、余剰品をNPO法人「フードバンクふじのくに」（静岡市）に寄贈開始
- 2016年1月 島田おびりあ店（島田市）でユーコープの初のフードドライブを実施し「フードバンクふじのくに」に寄贈
- 2016年8月 フードドライブ実施 静岡県内の全店（17店舗）が参加。以後毎年1月と8月にフードドライブを実施「フードバンクふじのくに」に寄贈
- 2016年10月 おうちCO-OP若草センター（南アルプス市）がキャンセル品を甲斐市社会福祉協議会へ寄贈開始
- 2017年2月 おうちCO-OP甲府センター（甲府市）がキャンセル品を甲府市へ寄贈開始
- 2017年7月 おうちCO-OP富士センター（富士市）がキャンセル品をNPO法人「POPULO」へ寄贈開始
- 2018年7月 おうちCO-OP伊豆センターがキャンセル品を「フードバンクふじのくに」を通じて、社会福祉協議会へ寄贈開始
- 2019年1月 ちづか店（甲府市）がフードドライブを開始

## 6 審査にあたり、最も注目してもらいたい取組、PRポイント

※最も注目してもらいたい／評価してもらいたい取組や、これまでの項目に当てはまらないPRポイントについて具体的に記入してください。

### 1. 事業所での自主的なフードドライブ活動の広がり

- ①ユーコープは2019年度、全事業所の職員・パート職員が、今後10年の地球環境の変化と「2030年に向けたユーコープの環境基本政策」について学び、共有しました。環境政策の3本の柱である「地球温暖化防止のためのCO2排出量削減」「持続可能な社会に配慮した商品の取り扱い・普及」「廃棄物の削減」について理解を深めるとともに、他人事とせず、一人ひとりが毎日の業務の中で推進すること、さらに周囲の組合員にも広め、ともに環境活動に取り組んでいくことを確認しました。
- ②環境への意識の深まったことで、これまで任意の店舗で実施していたフードドライブの取り組みに、2019年8月は神奈川県内全店（80店舗）が参加しました。これにより組合員から寄贈される食品も増加し、家庭に眠っていた食品や、事業所で破袋した米などが廃棄されることなく、食べ物を必要とする人々に渡し、その暮らしの立て直しの支援に役立てられるようになりました。
- ③2018年3月に設立後、フードバンクかながわでは積極的に設備見学を受け入れています。このため、組合員や職員・パート職員が見学会に参加し、フードバンクかながわに寄せられた食品の仕分けを体験して、いままであまりなじみがなかった「フードバンク」「フードドライブ」について理解を深められるようになりました。この様子を機関誌mioやホームページなどの媒体でもお知らせすることで、組合員の間に共感が広がっています。ユーコープでは現在、組合員に見学のほか、仕分けボランティアへの参加も呼びかけています。
- ④ユーコープでは6カ所（※）のおうちCO-OP宅配センターが、地域のフードバンクや子ども食堂がフードバンクかながわから食品を受け取る場所の提供に協力しています。提供食品の配送も、ユーコープ内部の物流の戻り便を利用することで、CO2排出量や物流コストの削減に貢献しています。

※2020年1月時点で、横浜市鶴見区、横浜市瀬谷区、相模原市、海老名市、藤沢市、小田原市

- ⑤フードドライブの取り組み実施前後は「ホームページ」「機関誌mio」「mio写真ニュース」など様々な媒体を通じて、組合員へ積極的に情報発信を行っています。特に食品を提供した組合員は、その後食品がどのように活用されているのか大変気にされます。このため、利用者の声を紹介するなど工夫を凝らし、「役に立ててよかった」「フードドライブっていい取り組みね」と感じてもらえるような発信をこころがけています。

### 2. 店舗での1/3ルールの見直し開始

食品ロス削減の次なる取り組みとして、2019年8月21日より店舗では順次、賞味期限・消費期限当日を陳列限界とする取り組みをスタートしました。この結果、売れ残り品の廃棄が大幅に削減するなど成果が見られ、在庫量変化による発注量の見直しなど新たな発生した課題についても意欲的に検討を進めています。

### 3. 若い世代への情報発信や啓発活動

高校・大学などからの講義依頼や見学申し込みを積極的に受け入れ、実施しています。フードバンクやフードドライブ、エシカル消費などの言葉を初めて知った、または聞いたことがあっても意味が分からなかった

ので講義を受けてよかったなど、嬉しい声を多くいただいています。

引き続き、以上のような取り組みを通じて、廃棄物削減・地球温暖化防止に貢献できる取り組みを進めてまいります。







おうちCO-OPのキャンセル品を寄贈



パッケージの傷やへこみなどで組合員にお届けできない商品や、やむを得ない事情で配達直前にキャンセルとなった商品などをフードバンクに寄贈しています。

※山梨県一部地域を除く

ユーコープから、食べ物を必要とする人へ



※山梨県の一部は直接行政・団体へ

# イベント情報紙

## 11 2019 NOV

### + ぷらすmio +

● ユーコープかながわ版 ●

**無料** ご自由に  
お持ちください

発行所  
生活協同組合ユーコープ **COOP**  
かながわ県本部 ユーコース

〒231-0062  
神奈川県横浜市中区桜木町1-1-8 日石横浜ビル23階

TEL 045-305-6116 FAX 045-305-6210

発行日: 2019.10.28 (月)

## フードバンクかながわ 仕分け作業のボランティア募集中!



フードバンクかながわでは、食品の寄贈のほかに、倉庫での寄贈された食品の仕分け、お米の袋詰めなどのお手伝いしていただける方を募集しています。くわしくはフードバンクかながわまでお問合せください。

**お問い合わせ先**  
公益社団法人フードバンクかながわ

住所：横浜市金沢区富岡東 2-4-45  
TEL：045-349-5803  
FAX：045-349-5804  
Mail：info@fb-kanagawa.com



## フードドライブ常設の 店舗のご紹介

- ハーモス荏田 (横浜市青葉区)
- たまプラーザ店 (横浜市青葉区)
- 桜台店 (横浜市青葉区)
- ミアクチャーナ末吉店 (横浜市鶴見区)
- 東戸塚駅前店 (横浜市戸塚区)
- ハーモス深谷 (横浜市戸塚区)
- 本郷店 (横浜市栄区)
- 小山台店 (横浜市栄区)
- 上郷店 (横浜市栄区)
- 大岡店 (横浜市南区)

- 野庭店 (横浜市港南区)
- 芹が谷店 (横浜市港南区)
- 釜利谷店 (横浜市金沢区)
- 白山道店 (横浜市金沢区)
- ミアクチャーナ湘南辻堂駅前店 (藤沢市)
- 湘南台店 (藤沢市)
- ミアクチャーナ茅ヶ崎高田店 (茅ヶ崎市)
- ミアクチャーナ南林間店 (大和市)
- ハーモス座間 (座間市)

組合員の皆さんの声からスタートしたフードドライブの常設。組合員の皆さんより「いつでもフードバンクに食品を寄贈できる」と大変喜ばれています。常設店舗が増えていますので、皆様に紹介いたします。




**【期間限定】**  
上麻生店 (川崎市麻生区)  
※ 11/1 ~ 11/12 開催  
11/11・12の2日間はファミリーサイクルもあります。

引き続き、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

●●●●●お問い合わせ先：組合員参加推進部 TEL 0120-553-379 (月～金 9:30～17:00) ●●●●●



ユーコープの最新ニュースはホームページでも  
ご覧いただけます。

## フードドライブにご協力いただき ありがとうございました

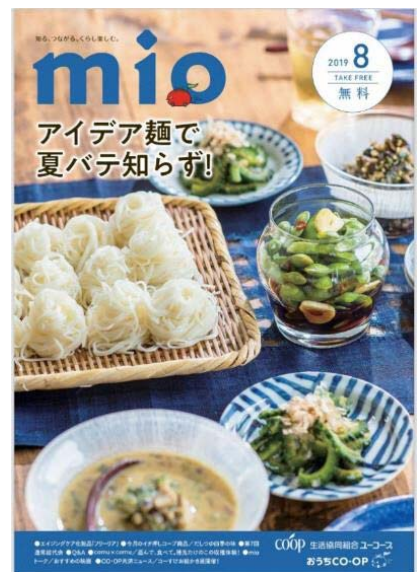
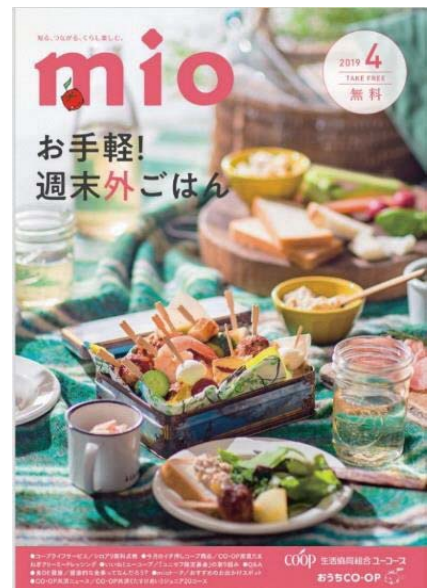
皆さんの家庭に眠っている食品を回収する「フードドライブ」。2019年1月4日(金)～1月31日(木)にユーコープの81店舗で実施し、3,077kgの食品が寄せられました。皆さんから寄せられた商品は、フードバンクや行政・社会福祉協議会を通して、食べるものを必要としている方々にお渡します。

寄付総量 **3077.9kg**

組合員の皆さんから多くのご協力をいただきました。  
ありがとうございました。



ちづか店(山梨県甲府市)のフードドライブのようす



### 全店舗でスタート!

## 家庭で眠っている食品をフードバンクに寄贈しましょう

家庭で眠っている、賞味期限が2カ月以上残っている未開封の常温商品をユーコープ店舗で回収しています。ぜひご提供ください。提供していただいた食品はフードバンクを通じて、食べるものがなくて困っている方々にお渡します。

- 実施期間  
2019年8月1日(木)～8月31日(土)
- 回収方法  
店舗に設置されている回収箱までお持ちください。

また、「いつでもフードドライブに食品を寄贈できるようにしてほしい」という組合員の声を受け、5月1日より一部店舗でフードドライブの常設がスタートしました。食品ロス削減をめざし、フードドライブの常設を順次すすめていきます。





# 環境

事業や商品を通して、組合員とともに、環境保全に向けたさまざまな活動に取り組んでいます。

15

フードドライブ  
寄附量  
**4,490.8kg**

食品残さ  
再生利用率  
**87.5%**

宅配のカタログ  
返却率  
**66%**

環境配慮商品  
取扱数  
**741品目**

CO<sub>2</sub>排出量(昨年比)  
**99.2%**

事業系廃棄物排出量(昨年比)  
**95.4%**

レジ袋削減率  
**91%**

レジ袋削減率  
**91%**

事業系廃棄物排出量(昨年比)  
**95.4%**



# 1. 食品ロスを減らす取り組み

日本ではまだ食べられるのに廃棄されている食品が年間で推計600万トン以上になります。ユーコープでは食品ロスを減らす一環として、フードバンク活動への寄贈や、家庭に眠っている食品を寄贈するフードドライブの取り組みをすすめています。また、店舗で出る食品残さ等の食品廃棄物のリサイクルも行っています。



## 事例① フードバンクへの寄贈

物流センターで作業中に生じたパッケージのキズ・へこみ品や余剰品、宅配センターの直前キャンセル品や店舗の破袋・陳列限界を超えたお米（精米・玄米）を神奈川県では「公益社団法人フードバンクかながわ」、静岡県では「特定非営利活動法人フードバンクふじのくに」、山梨県では行政・団体を通して寄贈を行っています。



フードバンクかながわに寄贈



フードバンクふじのくにに寄贈



甲府市や甲斐市社会福祉協議会に寄贈

## 事例② フードドライブの取り組み

店舗にお持ちいただいた家庭で眠っている食品をフードバンクに集め、フードバンクから行政や社会福祉協議会・支援団体を通じて食べ物を必要としている方々にお渡しするフードドライブの取り組みをすすめています。2018年度8月と1月に実施したフードドライブでは、81店舗から寄せられた4,490.8kgの食品をフードバンク等に寄贈しました。



ちづか店（山梨県甲府市）での取り組み

## 事例③ 店舗の“食品残さ”のリサイクルをすすめています

店舗から出る葉くずや売れ残ってしまった廃棄商品などの「生ごみ」、総菜の揚げ物の製造に使い終わった「廃食油」などの“食品残さ”を食品リサイクル法に基づき「再資源化」をすすめています。「生ごみ」は農作物の肥料や家畜・養殖魚のエサに、「廃食油」は生成処理されおうちCO-OPのトラックの燃料や化学合成品の原料などに再資源化することにより、ユーコープの“食品残さ”の再生利用率は87.5%（2018年度）と食品小売業の目標数値55%を上回って推移しています。



## PRESS RELEASE

2019.7.25 生活協同組合 ユーコース



### 誰もが幸せに暮らせる地域社会づくりに向けて 組合員・地域と共に ユーコープ全店 98 店舗でフードドライブ※に取り組みます

生活協同組合ユーコープ(本部:神奈川県横浜市)では、今回で8回目を迎えるフードドライブの取り組みを、ユーコープ全店 98 店舗で実施します。

※「フードドライブ」とは、家庭に眠っている食品を学校や職場、店舗などの募集受付施設などに集めて、フードバンクに寄付する食品寄付活動のことです。

#### 【本件のポイント】

- 2019年8月1日～31日の期間、店内にフードドライブ専用の回収BOXを設置し、来店者に協力を呼びかけます。
- 同じみなとみらいに本部のある横浜銀行の本店・支店にも、ユーコープのフードドライブのお知らせチラシを設置し、フードドライブの認知度向上にご協力いただきます。
- 前回(2019年1月)のフードドライブには81店舗が参加し、3t以上(3,077.9kg)の食品が集まりました。
- 組合員から寄せられた食品は、フードバンクかながわ、フードバンクふじのくに、甲府市、甲斐市社会福祉協議会を通じ、地域の中で食べ物に困っている方への支援に役立てられています。
- フードドライブの対象となるのは、「組合員から寄せられた未開封の食品で賞味期限が2か月以上残っているもの」、「店舗の破袋米と陳列限界を過ぎた米」の2種類です。



前回の取り組みの様子(ちづか店)

#### 【食支援を受けた方から届いたありがとうの声】

「お米をいただけるようになってから、炊飯器の中にご飯がある状態になりました。子どもはそれが嬉しくて、しょっちゅう炊飯器を開けて確認しています。子どもの笑顔もみられるようになりました。」  
 「中学生の子どもにおにぎりだけですが、お昼を持たせてあげられるようになりました。それまでは保健室やトイレに行ったりしたそうです。子どもも毎日嬉しそうに学校に行くようになりました」

<お問い合わせ先> 生活協同組合ユーコープ

広報・コミュニケーション推進部  
 広報担当 平岡(ひらおか)・廣田(ひろた)  
 TEL: 045-305-6126

#### 生活協同組合ユーコープの概要

【本部】横浜市中区桜木町1-1-8 日石横浜ビル 22~23F  
 【代表理事/理事長】當員伸一  
 【組合員数】1,788,834人  
 【総事業高】1,665億円(2019年3月20日現在)  
 【ホームページ】<http://www.ucoop.or.jp/>









## 組合員の皆さんの声で

まずは神奈川県内のお店で

# フードドライブの常設がスタートしました！

組合員の皆さんからの声で5月1日からスタートしました

2018年1月より試験的にフードドライブを常設しているハーモス座間、南林間店では、組合員の皆さんより

「いつでもフードバンクに食品を寄贈できると大変喜ばれています。」



常設の様子



ミアクチーナ末吉店

【常設店舗】ハーモス座間、ミアクチーナ南林間店、ミアクチーナ末吉店、ハーモス深谷、ミアクチーナ茅ヶ崎高田店、上郷店、野庭店、東戸塚駅前店、本郷店、小山台店、芹が谷店、桜台店、ミアクチーナ湘南辻堂駅前店、たまプラーザ店(7/3~)

【期間限定】上麻生店(7/1~7/9)

全店で実施 「もったいない」を「分かち合い」・「ありがとう」へ  
夏の**フードドライブ**  
ご協力ください

【実施期間】8月1日(木)~8月31日(土)

「ご家庭に眠っている食品」はありますか？

お寄せいただいた食品は  
フードバンクかながわ、フードバンクふじのくに、  
甲府市、甲斐市社会福祉協議会へ寄贈し、  
食べ物に困っている方の支援に役立てて  
いただきます。

期間中、店内に専用の  
回収BOXを設置します



食品提供の他にもできる身近な支援

## ボランティアに参加してみませんか

フードバンクかながわ、フードバンクふじのくに(期間限定)では、  
集まった食品の仕分けボランティアの募集をしています。



仕分け作業の様子  
賞味期限の確認をしています

【問い合わせ先】

フードバンクかながわ  
TEL.045-349-5803

参加場所：横浜市金沢区富岡東  
フードバンクかながわ施設内

フードバンクふじのくに  
ユーコープ 政策企画課まで  
TEL.0120-553-379

参加場所：静岡市葵区の会場  
(期間限定)9月実施予定

お気軽にお問合せください





「ご家庭に眠っている食品」はありませんか？

## 夏のフードドライブに

全店で実施

ご協力をお願いします



受付期間 8月1日(木)～8月31日(土)



皆さまのご家庭に眠っている食品をお寄せいただき、フードバンクを通して、食べ物に困窮する家庭や施設にお渡しいたします。フードドライブとは、食を通じた分かち合いをすすめ、食品ロスをなくす運動です。



期間中、店内に専用の回収BOXを設置します

### ボランティアに参加してみませんか？

～食品提供の他にもできる身近な支援～

フードバンクかながわ、フードバンクふじのくに(期間限定)では、集まった食品の仕分けボランティアの募集をしています。

【お申込み・お問合せ】



フードバンクかながわ  
TEL.045-349-5803

参加場所:横浜市金沢区富岡東  
フードバンクかながわ施設内



フードバンクふじのくに  
TEL.054-248-6177

参加場所:静岡市番町市民活動センター  
期間:9月10日・11日・12日の3日間

お気軽にお問合せください



仕分け作業の様子  
賞味期限の確認をしています

### フードバンク山梨への食品寄贈がスタートします！ ～夏のフードドライブでちづか店によせられた食品を～

「フードバンク山梨」では学校と連携して、長期休暇中に食料支援、学習支援、楽しい機会の提供を行う「フードバンク子ども支援プロジェクト」に取り組んでいます。ユーコープでは休みに給食が無くなることで、食事を抜いたり、栄養バランスの欠けた食事をしている子どもたちの健やかな成長をサポートするためこの時期に合わせて食品を寄贈します。





## 夏のフードドライブに

### ご協力ありがとうございました

8月1日～8月31日にフードドライブに取り組み、組合員の皆さんから「ご家庭で眠っている食品」など、合計2571.6kgもの食品をお寄せいただきました。ありがとうございます。これらの食品は、フードバンクかながわ、フードバンクふじのくに、フードバンク山梨へ寄贈し、「食の支援を必要としている方々」の支援に役立っています。

#### 2019年夏季寄贈結果

かながわ	1395.0 kg
しずおか	1117.1 kg
やまなし	59.5 kg
合計	2571.6 kg



次回は2020年1月  
冬のフードドライブを実施します



ご協力をお願いいたします



フードバンク山梨への寄贈がスタートしました！



寄せられた食品をフードバンクふじのくにへ寄贈しました

フードバンクかながわ  
ボランティア体験楽しかった！



#### ボランティア募集中！

フードバンクかながわでは、食品の寄贈のほかに、倉庫での寄贈された食品の仕分け、お米の袋詰めなどのお手伝いしていただける方を募集しています。くわしくはフードバンクかながわまでお気軽にお問合せください。

お問合せ：公益社団法人フードバンクかながわ  
住所：横浜市金沢区富岡東 2-4-45  
TEL: 045-349-5803 (月～金 9:00～17:30)  
FAX: 045-349-5804  
Mail: info@fb-kanagawa.com

8月2日 夏休み親子企画としてフードバンクかながわボランティア体験に小学生親子20組が参加し、お米の袋詰めや仕分け作業を体験しました。



### 3. 前回受賞からの発展内容

#### (1) 組合員の声からスタート！ペットボトルキャップのリサイクル活動

組合員にリサイクルに関するアンケートを取ったところ、2万2千通分の回答が集まり、「リサイクルしたい資源物」第1位がペットボトルキャップでした。その声を受けて、2016年3月21日より、神奈川県・静岡・山梨県内の全店舗（当時99店舗）でペットボトルキャップの回収を開始しました。さらに同年6月には宅配事業（おうちCO-OP）でも回収をスタート。回収したキャップは社会福祉法人同愛会の「リプラス（※1）」に分別を委託し、プラスチック資源として売却し、収益は全額を認定NPO法人「世界の子どもにワクチンを 日本委員会（JCV）（※2）」へ寄付し、東南アジアを中心に子どもたちの「はしか」などのワクチンに活用されています。

【ペットボトルキャップ収益寄付金】

	ポリオワクチン換算
2016年度	8,492人分
2017年度	13,354人分
2018年度	17,320人分

※1. 同愛会「リプラス」は知的障がい者の就労支援施設で、20～30人の利用者が自立のための訓練を受けながら、発泡スチロールのリサイクル作業などで収入を得ています。ユーコープでは2006年より発泡スチロールのリサイクル作業の委託を開始し、障がい者の就労機会の拡大と給与の向上に向けた支援を行っています。

※2. 認定NPO法人「世界の子どもにワクチンを日本委員会（JCV）」は、予防可能な感染症で命を落とす子どもたちにワクチンを届ける活動を行っている国際支援団体です

#### (2) 2017年3月21日、大和市におうちCO-OPリサイクルセンターを開設

おうちCO-OPリサイクルセンターはユーコープ自前のリサイクル施設で、主に宅配事業「おうちCO-OP」を利用する組合員から回収したカタログや宅配センターで発生するダンボール等の資源物を回収し、分別・圧縮する一次加工を行っています。圧縮された資源物はリサイクル業者を経て様々な再生品に生まれ変わっています。また、資源物の分別作業には社会福祉法人「同愛会」の利用者（障がい者）が携わっており、資源物の価値を高めることとともに、障がい者の就労支援を同時に実現している施設です。2019年8月よりユーコープのパート職員として9名の障がい者を雇用しています。

【カタログの回収量と節約効果について】

回収量	カタログ（お買物めも）	節約効果 立ち木	再生品
2017年度	10,538,483kg	210,770本分	再生紙
2018年度	11,280,722kg	225,614本分	再生紙

#### (3) フードバンク・フードドライブ活動の広がり

（5 成果を上げている取組や先駆的・模範的な取組・事業 参照）

#### (4) CO・OPの洗剤を買って、森を育てようキャンペーン

①ユーコープでは毎年「CO・OPの洗剤を買って森を育てようキャンペーン」を実施しています。これは、コープ商品の洗剤を1点お買い上げごとに1円を、コープの産地指定「宮城県産かき」の産地の森の植林活動に寄付する取り組みです。2015年4月20日から10月20日まで実施し、組合員の皆様のご協力により集まった26万9,714円を、森林を整備する費用として「石巻グリーングローブの会」に寄付しました。

②2016年と2017年は4月21日から10月20日まで、日本生協連とともにコープ商品の洗剤（セフターおよびおぞら）1点お買い上げごとに1円を、東南アジアのボルネオ島の環境を守る「緑の回廊プロジェクト」に寄付しました。

③2018年からはWWFジャパンがインドネシア領ボルネオ島で進めるプロジェクトに支援先を変更し、インドネシア西カリマンタン州の保護価値の高い森林に近いエリアにある小規模パーム農園の持続可能な生産を支援しています。

#### (5) 本部にiPadを導入、ペーパーレス会議を推進中

環境負荷の軽減と経費削減の両面から、ユーコープではコピー用紙の使用削減に継続的に取り組んでいます。その一環として、ユーコープ本部（横浜市中区）で開催する会議のペーパーレス化を進めています。ペーパーレス会議は、Apple社のタブレット「iPad（アイパッド）」を活用して業務専用サイト内に保存した会議資料のデータを閲覧するスタイルで、2014年にテスト運用を開始し、2015年3月に正式に導入しました。本部では2015年度にペーパーレス会議への移行を積極的に推進し、1年間で29部署がのべ770回にわたりiPadを会議に活用しました。これにより2015年度の本部内コピー枚数は前年度より約95万枚削減できました。今後本部ではさらに会議のペーパーレス化を強化していきます。

加えて2015年度より、本部の参加と連携推進本部ではインターネットを活用し、一部会議についてテレビ会議を実施しています。しずおか県本部・やまなし県本部と本部のメンバーがパソコンのモニターを通じて顔を合わせながら課題について話し合いを行っています。

#### (6) 商品カタログを選択できるようになりました

2017年2月より組合員が商品カタログを選択できるシステムをスタートしました。さらに2018年3月からは、注文書の配布も要・不要を選べるようになり、紙資源の節約に貢献しています。

#### (7) 2019年2月「かながわプラごみゼロ宣言」賛同企業に登録

神奈川県が推進する「かながわプラごみゼロ宣言」の賛同企業として神奈川県に登録され、2019年2月12日、黒岩県知事より登録証が授与されました。近年プラスチックごみは海洋投棄が国際的な問題となっています。組合員とともに、レジ袋利用の削減や、プラスチック資源物の回収・リサイクルを引き続き推進していきます。

#### (8) 神奈川・静岡・山梨の3県でプラスチック学習会を開催

2019年7月に、海洋プラスチック問題に対する関心の高まりを受け、プラスチックに関する学習会を開催しました。目的は、プラスチックごみによる海洋や生態系への影響を正しく学び、自分ごととしてとらえ「私たちに何ができるのか」を考える機会としました。また、ユーコープのプラスチックに対する考え方についてお知らせし、具体的な取り組みに対する共感を広げました。

#### (9) 店舗での陳列ルールの見直しで食品ロスを削減

2019年8月21日より、陳列管理ルールを見直し、賞味期限、消費期限の当日まで陳列することに変更しました。このことで食品ロスの削減が進んでいます。